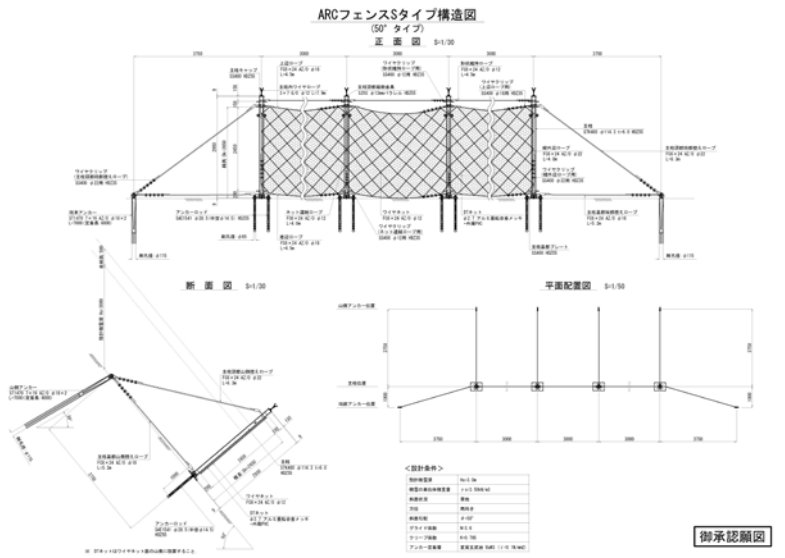


技術名 <b>エネルギー吸収型小規模落石防護柵工法</b>	登録 No.
	18D1037

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成26年度
発注機関	新潟地域振興局 津川地区振興事務所
工事名	一般県道柴倉津川線防災安全(雪寒・補正)工事
施工地	東蒲原郡阿賀町七名地内
施工数量	雪崩予防柵 114m

**新技術の概要**  
 ARC(アーク)フェンスSタイプは、主柱とワイヤネットを支持面とした斜面設置型の落石兼用雪崩柵で道路や民家などを落石・雪崩災害から予防するスノーフェンスです。大規模なコンクリート基礎が不要であり斜面の掘削作業はない構造が特徴の工法です。



**トライアル工事での評価結果**

比較した従来技術	鋼製雪崩予防柵	
項目	評価	評価内容
経済性	◎	基礎コンクリート工が不要で、鋼材の量が少量で済むため安価となる。
工程	◎	地山掘削やコンクリート工が不要なため、工程の短縮となる。
品質出来形	○	主部材が工場製作・組立のため、出来形・品質が一定で、現場で要する管理も減少。
安全性	◎	斜面上での土工が無いため、転落災害のリスクが減少し、部材が軽量で落下物災害のリスクも減少。
施工性	○	立木伐採、地山掘削、型枠・コンクリート工等の施工が減少。ロープ設置の施工は慣れが必要。
環境	◎	伐採木、残土が減少し廃棄物が抑制される。透過性があり景観と調和。
その他		

◎:優れている    ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている    ×:劣っている

活用上の留意点	基礎形式がアンカー構造のため、地盤条件を把握する必要がある(設計時、施工時ともに)。
---------	--

<b>新技術問い合わせ先</b>	
会社名	株式会社プロテックエンジニアリング
所属部課	技術開発部
担当者	西田陽一
TEL	025-278-1551

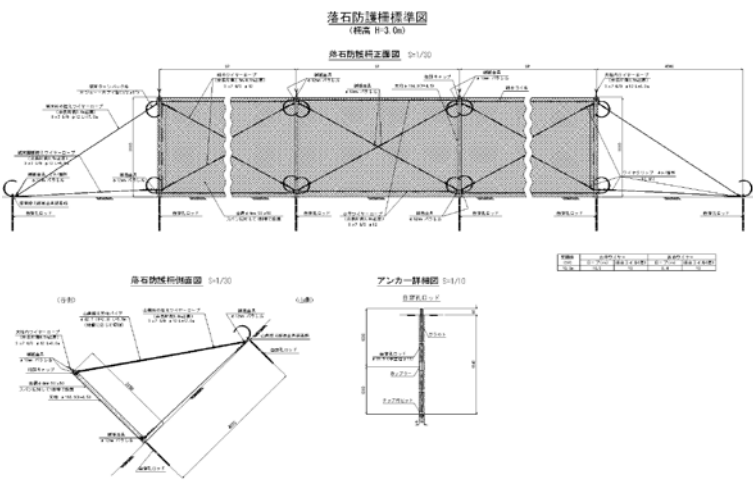


# 活用調査表

様式6

技術名 エネルギー吸収型小規模落石防護柵工法	登録 No.
	18D1037

**施工内容**  
**工事名** : 主 佐渡一周線 離島地域連携推進 (県道防災) 歌見落石対策工事  
**施工数量** : 防護柵工 L=45m  
**工期** :



**概要**  
 緩衝金具や支柱材等をバランス良く配置することにより、落石エネルギーを緩衝金具とワイヤーロープの摩擦により吸収し、落石を補足する構造となっている。

**特徴**  
 構造は、支柱・ワイヤーロープ・金網・アンカーで構成されていて、部材が軽量であることから、人力のみの施工が可能である。  
 コンクリート基礎を用いないことから、基礎工により広範囲にわたって斜面を傷つけることがない。  
 支間長が最大10mと支柱間隔が大きいことから、立木などの伐採も最小限となり、環境に負荷を与えない。



**実施結果**  
 比較した従来技術  
 「高エネルギー吸収柵、落石防護柵」  
 ・従来技術と比較し、経済的であり、工期短縮となった。  
 ・削孔機械が簡易であり、部材も軽量であることから安全性や施工性が向上した。  
 ・国定公園内の樹木を伐採することなく施工できた。

**トライアル工事での評価結果**

<input checked="" type="checkbox"/> 経済性	<input type="checkbox"/> 安全性
<input checked="" type="checkbox"/> 工程	<input checked="" type="checkbox"/> 施工性
<input type="checkbox"/> 品質	<input checked="" type="checkbox"/> 環境

◎:優れている ○:やや優れている  
 □:従来技術と比べて同程度  
 △:やや劣っている ×:劣っている



**新技術問い合わせ先**  
**会社名** : (株)プロテックエンジニアリング  
**所属部課** : 防災設計部  
**担当者** : 野田 浩章  
**TEL** : 025-278-1551